

## 加熱脱離-GC/MS法による自動車内装材VOC分析

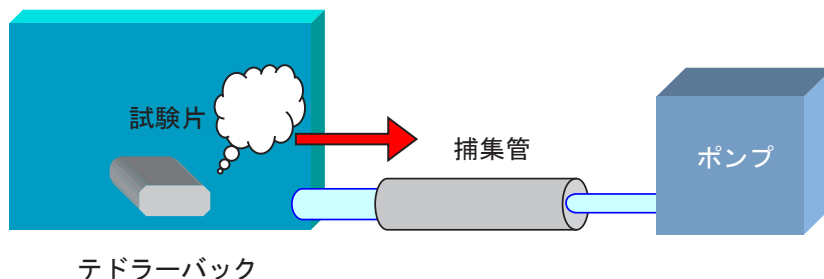
日本自動車工業会(JAMA)では2005年2月に「車室内VOC低減に対する自主的取り組み」を宣言し、2007年度発売の新型自動車からVOC濃度の低減に努めている。室内濃度の低減化とあわせて、どの自動車内装材からVOCが放散しているかを見極めるため、分析法として加熱脱離-GC/MS (TD-GC/MS) 法が採用されています。

日鉄住金テクノロジー(株)広畑事業所では、吸着剤を充填した捕集管に車内空気及び自動車内装材の試験片を入れたテドラーバック内ガスを一定流量で吸引し、測定対象物質を捕集後、捕集管を加熱脱着装置に装着し、加熱脱着する測定対象物質をキャピラリーカラム

### 厚生労働省が定めた室内濃度指針値 (2002年1月設定)

分類	指針値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	分析方法
ホルムアルデヒド	100 (0.08 ppm)	DNPH-HPLC 法
アセトアルデヒド	48 (0.03 ppm)	
トルエン	260 (0.07 ppm)	加熱脱着-GC/MS 法
キシレン	870 (0.20 ppm)	
エチルベンゼン	3800 (0.88 ppm)	
スチレン	220 (0.05 ppm)	
テトラデカン	330 (0.04 ppm)	
フタル酸ジ-n-ブチル	220 (0.02 ppm)	
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	120 (7.6 ppb)	

### 捕集方法



### 分析チャート (分析例)

